

海西中だより

校訓 強く 正しく 美しく
 学校長 松田 隆 男
 令和3年12月22日 第9号

学校教育目標：人間性豊かで自立することができる生徒の育成

コミュニケーションワード：「新たな一步を踏み出すために 強い心で夢を見る」

● 2021年 大変お世話になりました。

お陰様で、大きな事件・事故なく師走を迎えられました。これも、保護者・地域の皆様による本校の教育活動へのご理解・ご協力の賜物と深く御礼申し上げます。

さて、臨時休校から始まった2学期ですが、新型コロナウイルスの感染拡大が収まるにつれて、教育活動を再開することができました。西翔祭合唱の部・西翔祭運動の部・3年生遠足等は、例年実施してきた形とは違いますが、生徒たちにとっては、記憶に残る活動ができたようです。常総市主催で実施した「少年の主張」では、西中からの代表者が3名いました。どの生徒も大変見事な主張をしておりました。その中の一人の主張には、「コロナ禍で今まで感じなかった人とのつながり、当たり前の大切さを改めて感じた。」との言葉がありました。制限された生活を前向きにとらえたこの言葉に心を打たれました。困難な状況を明るく前向きな言葉に置き換えることで、なぜか温かい気持ちになるような気がします。

今後、コミュニケーションワード「新たな一步を踏み出すために、強い心で夢を見る」を合言葉に、感染状況の変化に対応した教育活動を考えていきます。これからも本校教育活動への変わらぬご理解・ご協力をお願いいたします。

水海道西中学校 校長 松田 隆男

● 資源回収にご協力ありがとうございます。

マチコミで保護者の皆様に協力を呼び掛けておりました資源回収が、現在のところ2回の業者引き取りを終えまして、アルミ缶70kg、スチール缶20kgが集まり、収益7,140円がありましたことをご報告いたします。なお、資源回収につきましては、今後も随時行っておりますので、ご協力をお願いいたします。



● 教職員の働き方改革をめざして

現在、教職員の超過勤務時間が、教職員だけの問題ではなく大きな社会問題として取り上げられています。「教職員が心身ともに健康でゆとりをもって生徒と向き合う時間を確保し、充実した教育活動に従事できるようにする」というねらいの実現のために、我々教職員の意識も含めて変えていかなければなりません。過労死レベルとされる80時間を超える超過勤務時間を伴うような働き方は、既に求められていません。茨城県では、令和4年度末までに「1か月の超過勤務時間45時間を超える者の割合0%」を目標に掲げ、働き方改革を進めているところです。

水海道西中学校におきましても、部活動以外の業務は、できるだけ勤務時間内に終わらせること目標に取り組んでおります。水海道西中学校職員の勤務時間は、8:05～16:35となっております。保護者の皆様には、何かとご不便をおかけすることもあるかと存じますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

● 生徒会選挙が行われました。

12月16日(木)6校時生徒会選挙が行われました。今回1・2年生合わせて16名が立候補しました。当選された皆さん、よりよい学校目指して一緒に頑張りましょう。

- | | |
|----------------|---------------|
| ・会長2年 小倉 悠和さん | ・役員2年 北村 爽人さん |
| ・副会長2年 染谷 瑞稀さん | ・副会長1年 石井 瑛さん |
| ・役員2年 小川 佳美さん | ・役員2年 岡野 絢夏さん |
| ・役員2年 金原 花穂さん | ・役員1年 風見 暖乃さん |
| ・役員1年 後藤まひろさん | ・役員1年 中沢 碧さん |

